

平成29年1月6日

高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

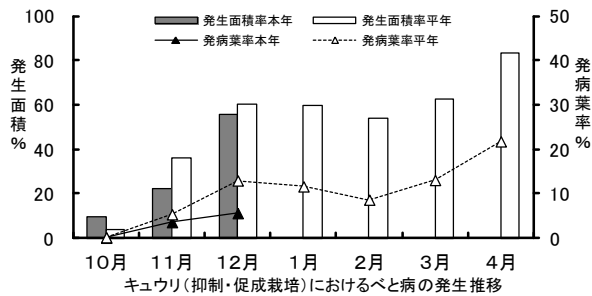
野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

べと病

発生量: 平年並

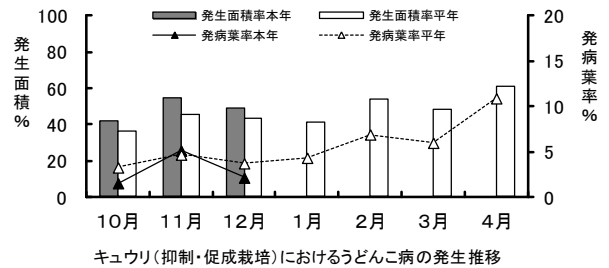
発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; やや少



うどんこ病

発生量: 平年並

発生面積: 中央部; やや多、中西部; 少、西部; 少

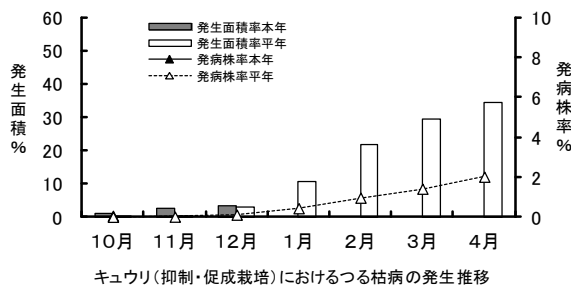


うどんこ病は先月からやや発生が減少しましたが、べと病は増加しています。ともに発病程度はそれほど高くありませんが、うどんこ病は中央部でやや多発生となっています。気温が低く、サイドを締め切るため、ハウス内湿度が高くなりやすい時期となります。特にべと病の増加に注意しましょう。

つる枯病

発生量: 平年並

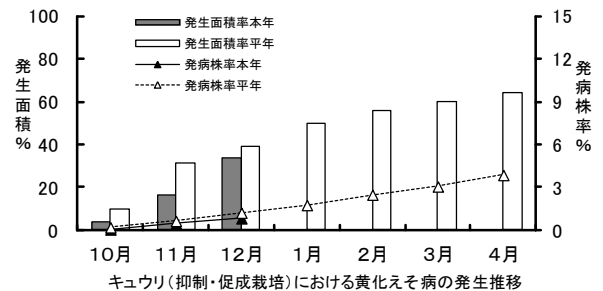
発生面積: 中央部; 少、中西部; 多、西部; 多



黄化えそ病

発生量: 平年並

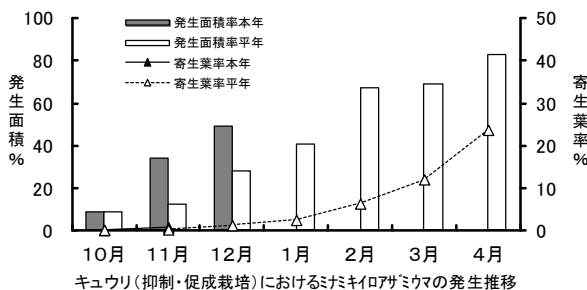
発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; 平年並



つる枯病は全般的には平年並の発生ですが、県中西部、西部での発生が多くなっています。黄化えそ病は先月のやや少発生から増加し、平年並の発生となっています。1月下旬頃から気温が上昇し始めると、ミナミキイロアザミウマの密度が増加し、それに伴い黄化えそ病の発生も増加すると考えられます。

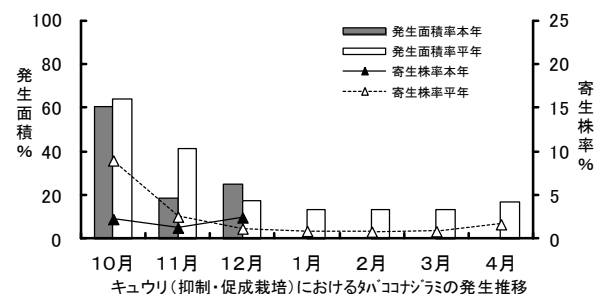
ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや多

発生面積: 中央部; 多、中西部; 少、西部; 多



タバココナジラミ 発生量: やや多

発生面積: 中央部; やや多、中西部; 少、西部; 平年並



県中央部、西部ではミナミキイロアザミウマの発生が平年より多くのほ場で見られています。現在は成長点付近に数頭見られる程度で、密度は高くありませんが、今後の増加に注意しましょう。タバココナジラミの発生は先月からやや増加し、中央部ではやや多発生となっています。比較的発生の見られるほ場では、気温が上昇し、増加速度が速くなる前に防除を行いましょう。

平成29年1月6日

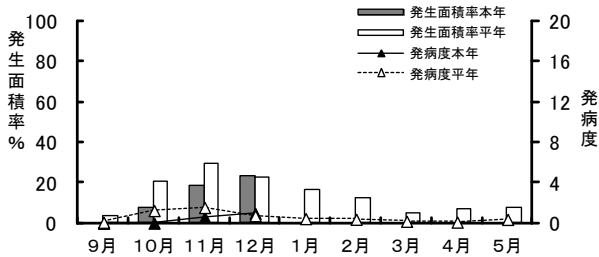
高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、西部; 平年並

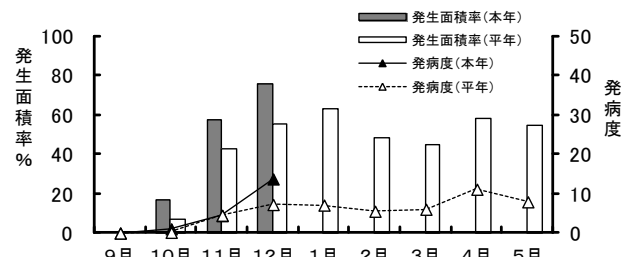


ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

先月より発生が増加していますが、県全域で平年並～少発生となっています。発病程度も高くはありません。

黒枯病 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、西部; やや多

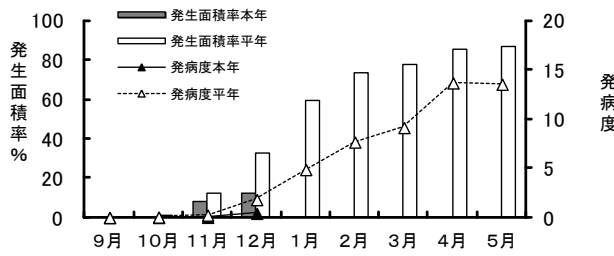


ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県中央部、西部で発生が多くなっています。中位葉まで発病が進展しているようなほ場も見られているため、注意しましょう。

すすかび病 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、西部; 平年並

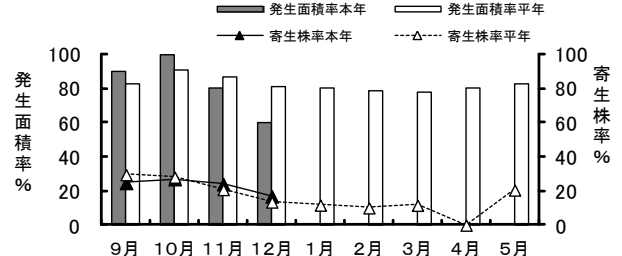


ナス(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

県全域で平年並～少発生となっていますが、県西部では密度の高いほ場も見られています。発生が増加する前に防除しましょう。

タバコナジラミ 発生量: やや少

発生面積: 東部; やや少、中央部; 少、西部; 平年並

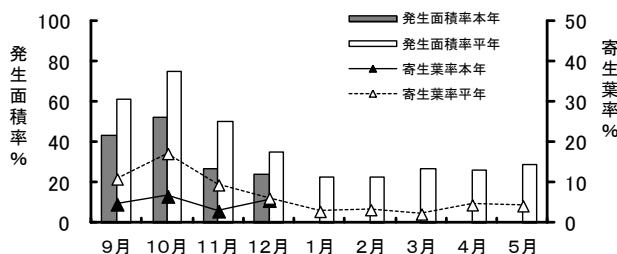


ナス(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

先月より発生が減少し、県全域で平年並～少発生となっていますが、県西部ではやや密度の高いほ場も見られています。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや少

発生面積: 東部; やや少、中央部; 少、西部; 少

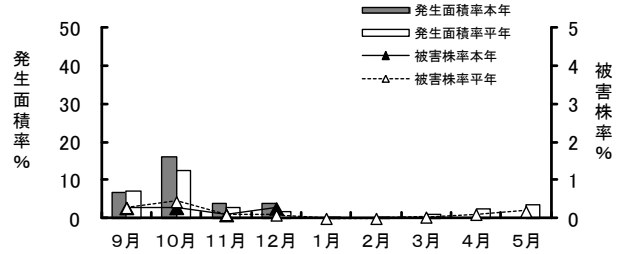


ナス(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

県全域でやや少～少発生となっています。密度の高いほ場もほとんど見られていません。

ホコリダニ類 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、西部; 少



ナス(促成栽培)におけるホコリダニ類の発生推移

県中央部で平年より多くの発生が見られています。特に秋期に発生の見られたほ場で、今後気温の上昇とともに再び発生が見られ始める可能性があるため注意しましょう。

平成29年1月6日

高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

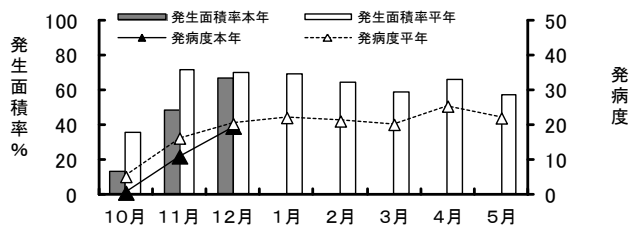
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン・シシトウ(東部・中央部・中西部)

※ピーマンとシシトウでは登録薬剤が異なる場合があります。作物登録を確認し、使用するようになしてください。

うどんこ病 発生量: 平年並

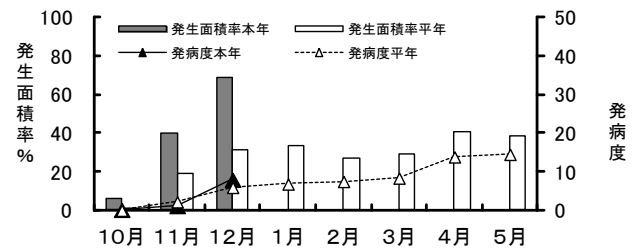
発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、中西部; 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

斑点病 発生量: 多

発生面積: 東部; やや多、中央部; 多、中西部; 多

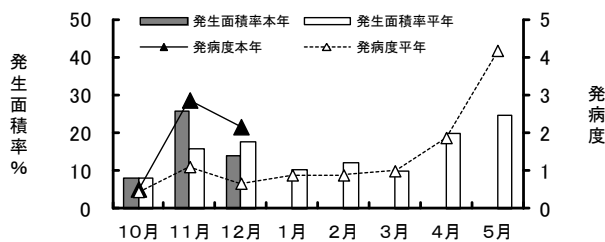


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

うどんこ病は県全域で平年並～少発生となっています。斑点病は県全域でやや多～多発生となっており、中央部では比較的発病程度の高いほ場も見られています。薬剤防除や耕種的防除により発生を抑制しましょう。

黒枯病 発生量: やや少

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、中西部; 多

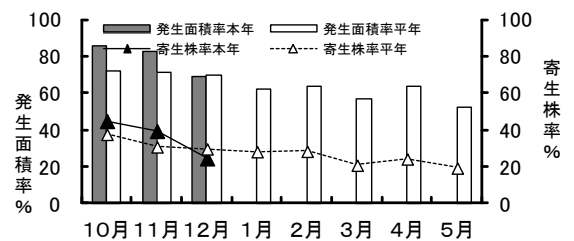


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

全般的な発生は先月より減少しましたが、県中西部での発生は多くなっています。発病程度の高いほ場も見られるため注意しましょう。

タバコナジラミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 平年並

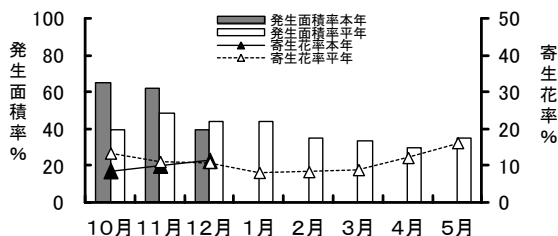


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

県全域で平年並の発生となっています。中西部ではやや密度の高いほ場も見られていますが、すす病の発生はほとんど見られていません。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 少

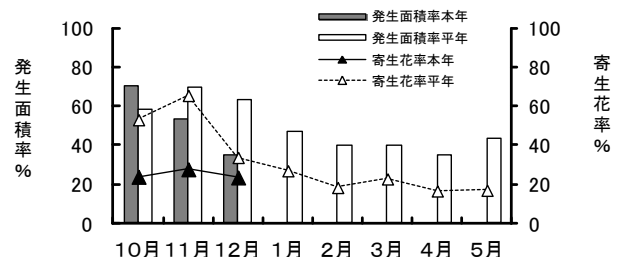


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

ミナミキイロアザミウマの発生は先月から減少し、県全域で平年並～少発生となっています。ヒラズハナアザミウマも同様に発生が減少し、県全域で平年並～少発生となっています。

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 少、中西部; 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

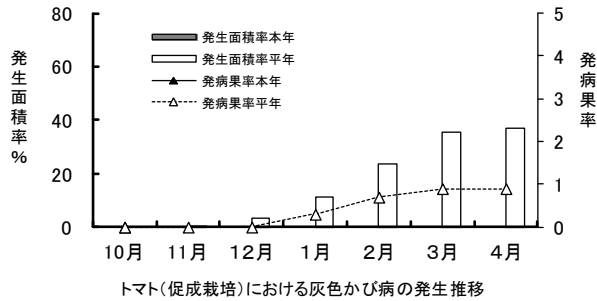
平成29年1月6日

高知県病害虫発生予察12月月報及び予報第10号(1月)

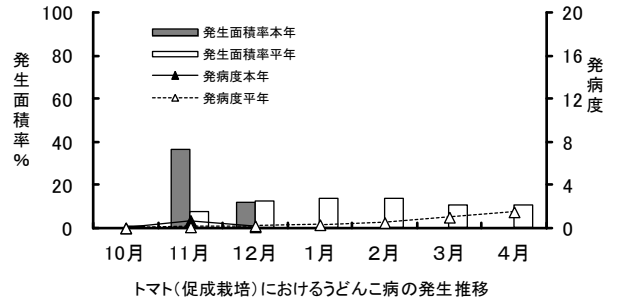
野菜類ダイジェスト版

● 促成トマト(中央部)

灰色かび病 発生量:少



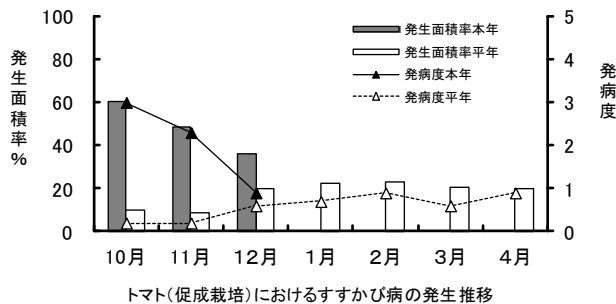
うどんこ病 発生量:平年並



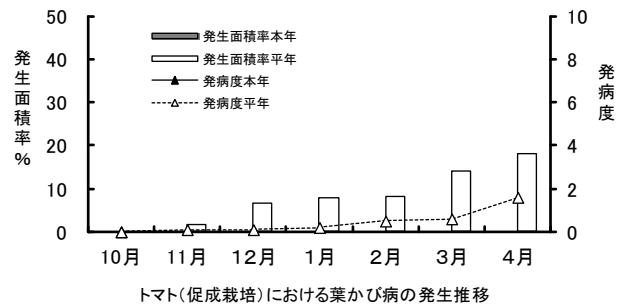
12月も発生が見られていません。今月は発生しやすい気象条件となるため注意しましょう。

平年並の発生となっています。発病程度も高くありません。

すすかび病 発生量:多

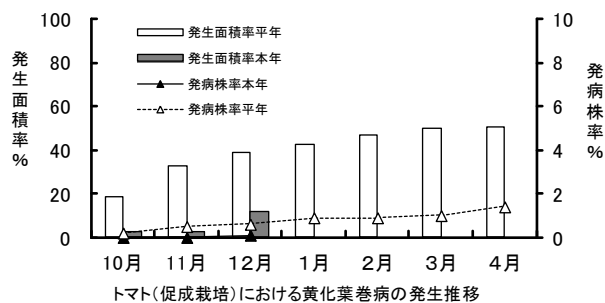


葉かび病 発生量:少

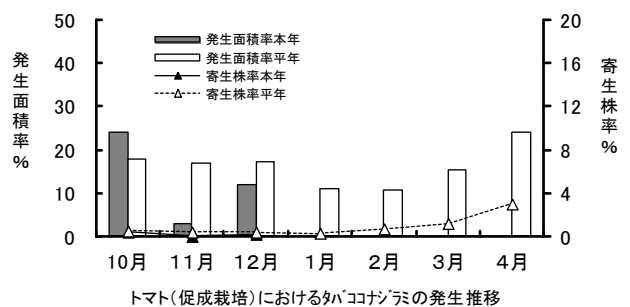


葉かび病はまだ発生が見られていません。すすかび病は先月よりも発生が減少しましたが、まだ比較的多くのほ場で見られています。しかし、発生程度は低く下葉に病斑がわずかに見られる程度のほ場がほとんどとなっています。

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量:少



タバコナジラミ 発生量:やや少



トマト黄化葉巻病の発生は先月よりやや増加しましたが、平年に比べると少なくなっています。タバコナジラミは、密度は低いものの、先月よりやや発生が見られています。気温の上昇にともない、発生が増加する恐れがあるため、発生の見られるほ場では初期に防除しましょう。